

微生物と腐植で
土を変える！

沖縄は一年を通して温暖ではあるが、年間降水量2千ミリ、台風など雨風が多く湿度の高い地域である。ジャージャーや島尻マージといった特有土壌はクセが強く、決して恵まれた栽培環境ではない。

豊見城市饒波でミニトマトを栽培している金城敏満さんはかつて萎凋病で頭を抱えていた。一棟だけコフナを試してみたところ病気はほとんど出なくなった。今では部会上位の収量を誇る。沖縄でのコフナ・ソーラー法は単なる太陽熱土壌消毒ではない。塊りやすい土をほぐれやすい土に変え、水捌けを変え水たまりを減らし、腐植と微生物相を豊かにする、土づくりの手段である。金城敏満さんにとって味と収量を大切にするためにも欠かすことのできないものとなっている。

フランス
パスツール研究所
生まれ

コフナ®

トマトの味を大切にするために
沖縄の夏と微生物と有機物と水を
最大限に活かしたコフナ・ソーラー法



JAおきなわ豊見城支店トマト共選部会
金城敏満さん

地域：沖縄県豊見城市饒波
品種：ミニ千果、大玉はれぞら（共に自根）
定植：ミニ8月20日～、大玉9月20日～
収穫：ミニ10月上旬～6月
大玉11月10日頃～6月
収量：ミニ7ト/300坪、大玉13ト/300坪

金城敏満さんのコフナ使用方法

トマト（大玉・ミニ）終了後、コフナMPSSを15袋～/300坪
海藻ほか堆肥等有機物と一緒に土壌混和し、7月中旬～8月10日の期間でコフナ・ソーラー法を実施。（※水は数回に分け、たっぷり）

その他使用資材

大どんでん返し（発根促進剤）

コフナ農法普及協議会 事務局／ニチモウ株式会社社内
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-20-2
TEL.03-3458-4369 FAX.03-3458-4329
E-mail : info@cofuna.jp WEB : http://www.cofuna.jp

